

2022年12月期 第2四半期 決算説明資料

2022年8月5日



第2四半期 決算概要

2022年1月～6月

連結第2四半期実績

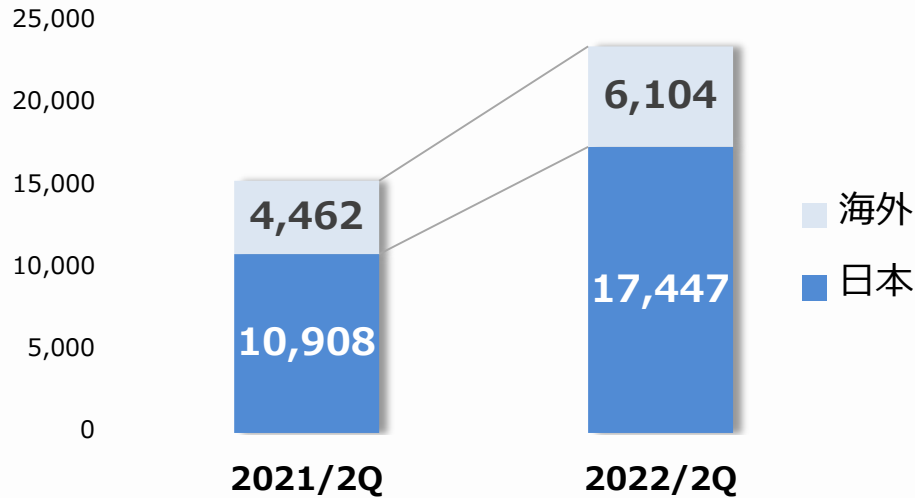
(百万円)

	2021/2Q	2022/2Q	対前年 増減率	対修正予想 乖離率	2022/2Q 修正予想 (4月28日)
売上高	15,370	23,552	53.2%	9.0%	21,600
営業利益	1,662	3,139	88.8%	30.3%	2,410
経常利益	1,733	3,343	92.9%	37.0%	2,440
親会社株主帰属 当期純利益	1,160	2,269	95.6%	36.7%	1,660

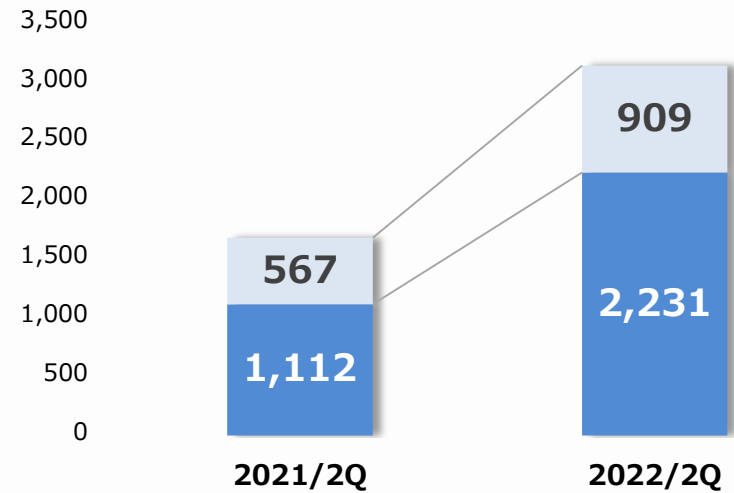
セグメント別第2四半期売上高・営業利益

(百万円)

売上高



営業利益



海外/日本のセグメント比率

29%	26%
71%	74%

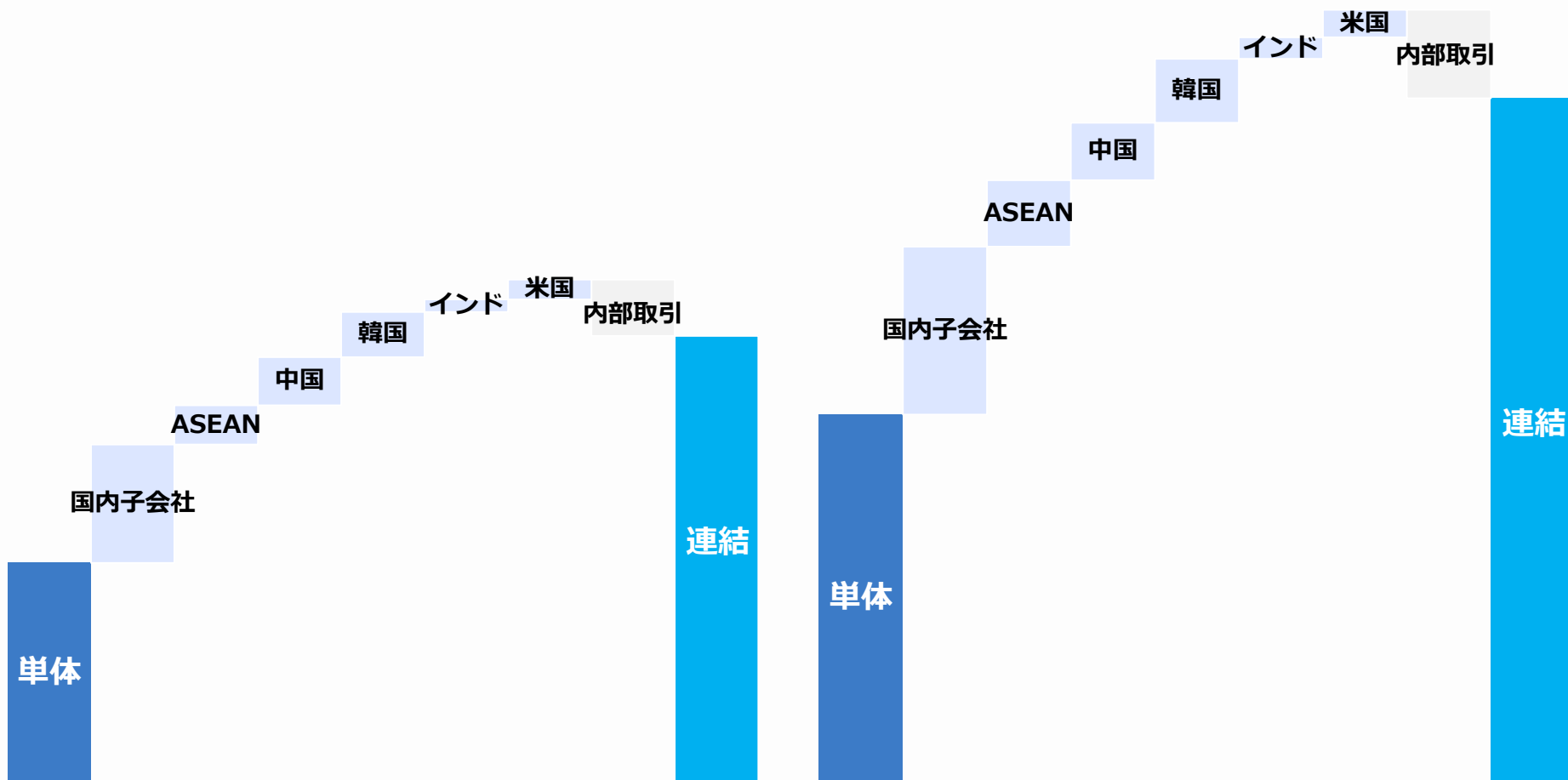
34%	29%
66%	71%

* 内部取引調整後

当社グループ売上高の割合

2021/2Q

2022/2Q



* 単純合算

* ASEAN: シンガポール・タイ・インドネシア

グループ第2四半期業績ハイライト

単体

数量は対前年同四半期比でほぼ横ばいで推移する一方、運賃は大幅に上昇した結果、増収増益。

国内子会社

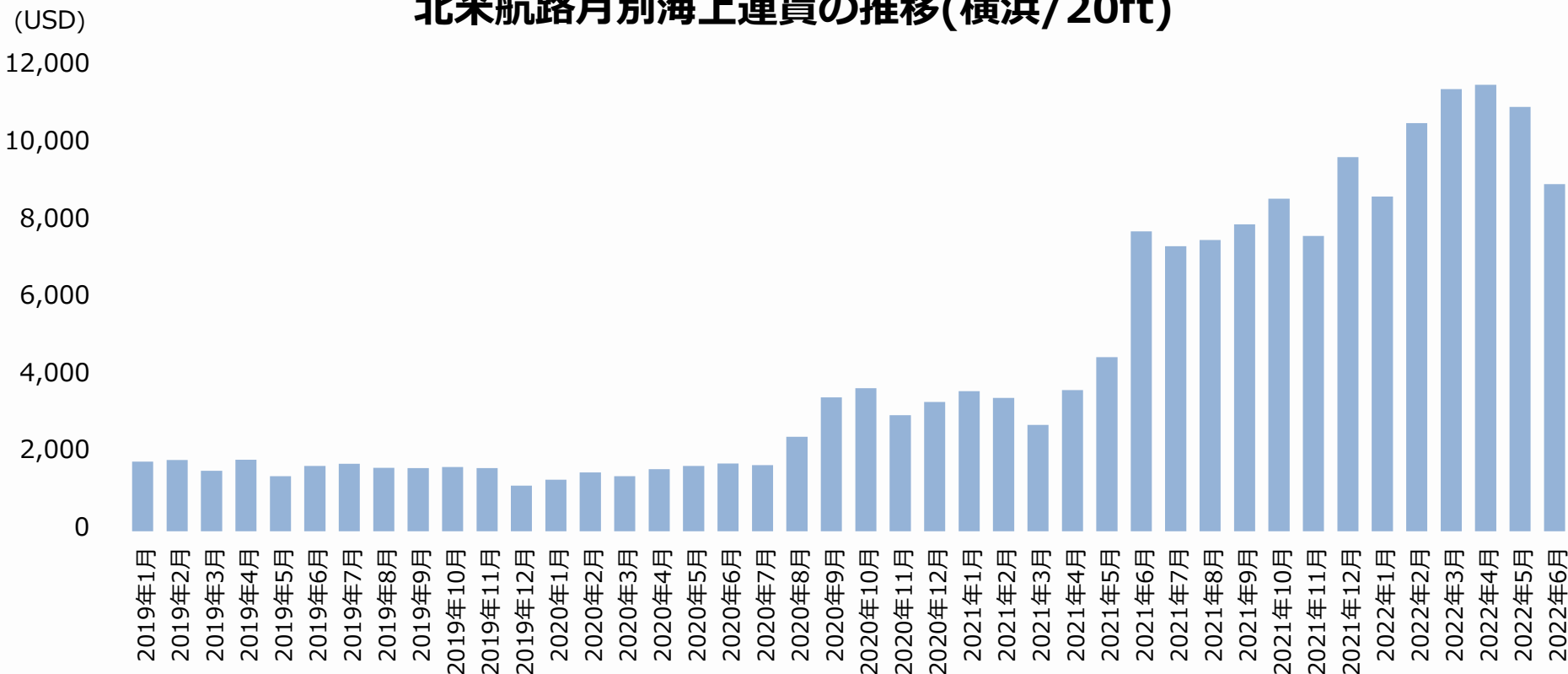
〈ユーシーアイ〉
海上コンテナスペースのひっ迫などによる航空輸送の増加と大口の設備輸入案件の獲得により、増収増益。

〈フライングフィッシュ〉
食品輸入の取扱に加え積極的な新規取引拡大などにより増収増益。

海外子会社

日本発着以外のサービスの強化やフォワーディング案件の取込みなどにより増収増益。

北米航路月別海上運賃の推移(横浜/20ft)



横浜/ロサンゼルス航路コンテナ運賃動向

2022年7月26日

(USD)

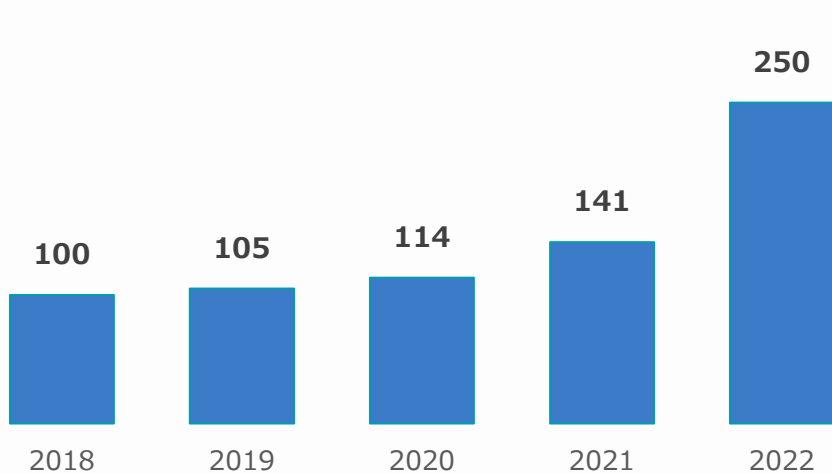
年	サイズ	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年	20ft	3,620	3,450	2,750	3,650	4,500	7,760	7,370	7,530	7,940	8,600	7,640	9,680
	40ft	5,100	4,850	4,350	4,910	5,960	9,840	8,890	9,080	9,700	10,240	9,640	11,520
2022年	20ft	8,660	10,560	11,440	11,550	10,980	8,980						
	40ft	10,940	12,520	14,380	14,320	13,520	11,510						

※(公)日本海事センター：コンテナ運賃動向資料を基に当社にて作成

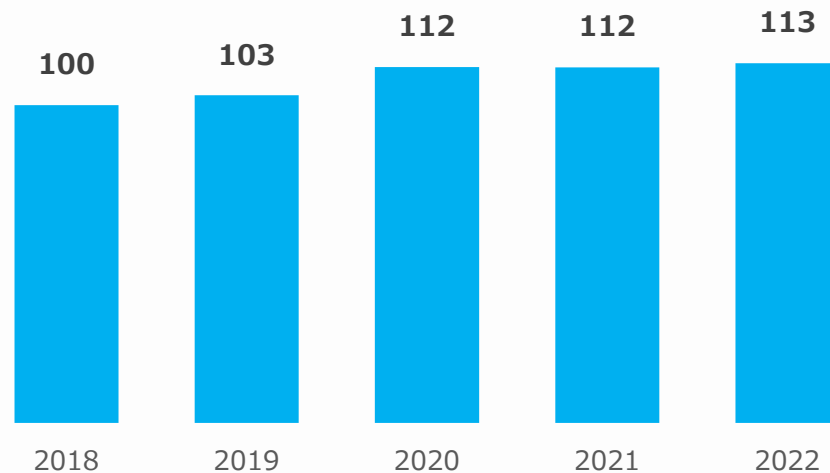
単体第2四半期混載売上単価・数量推移

※2018年を100とする

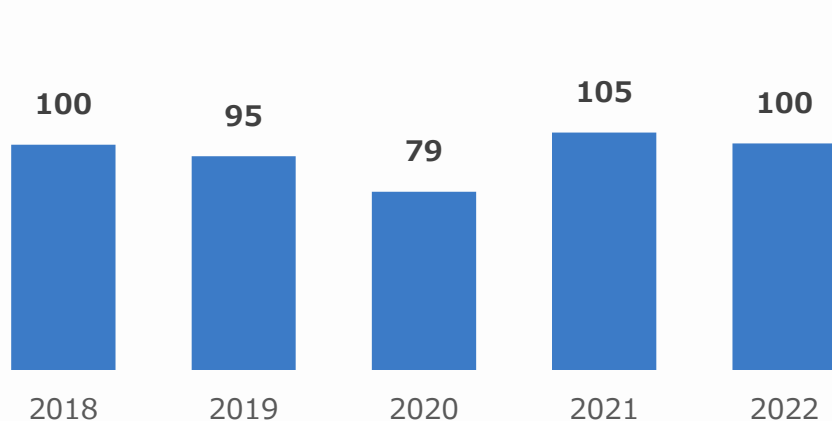
輸出混載売上単価



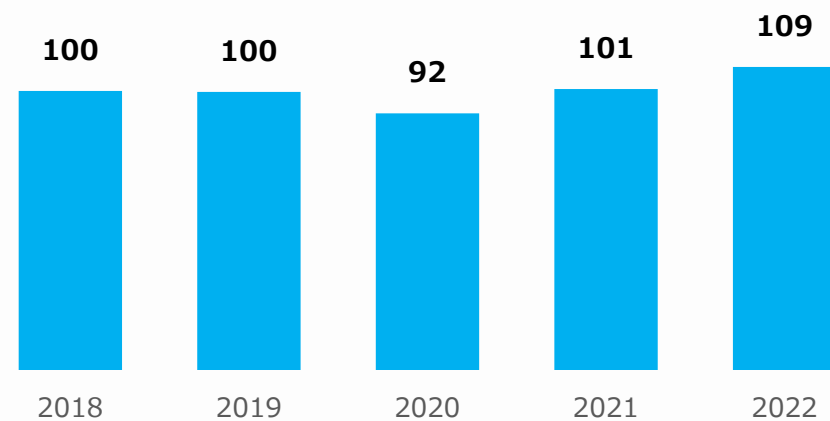
輸入混載売上単価



輸出混載数量



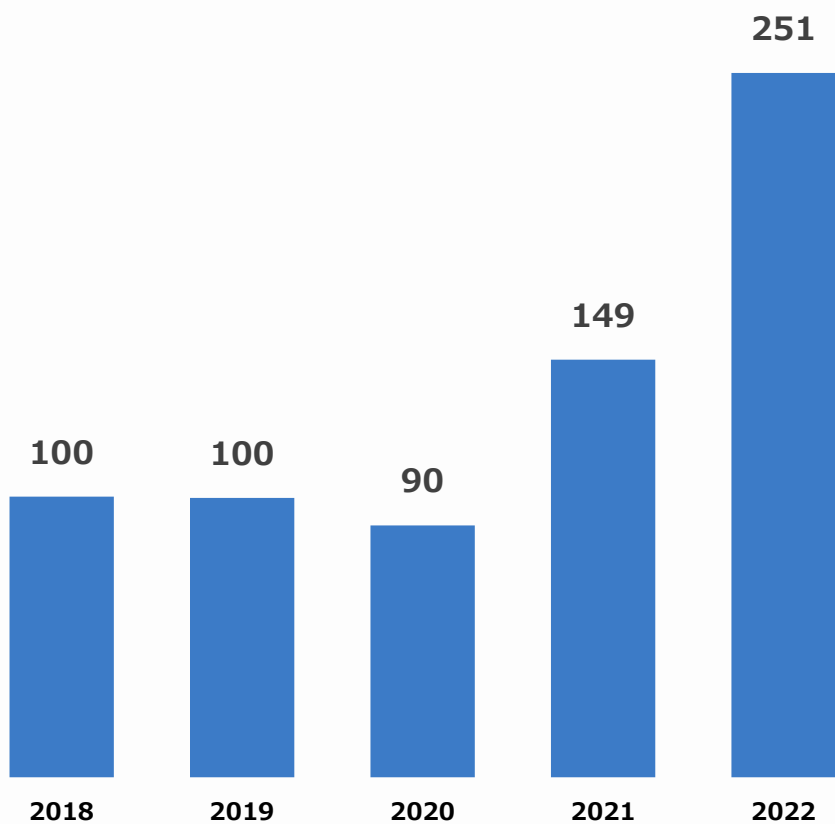
輸入混載数量



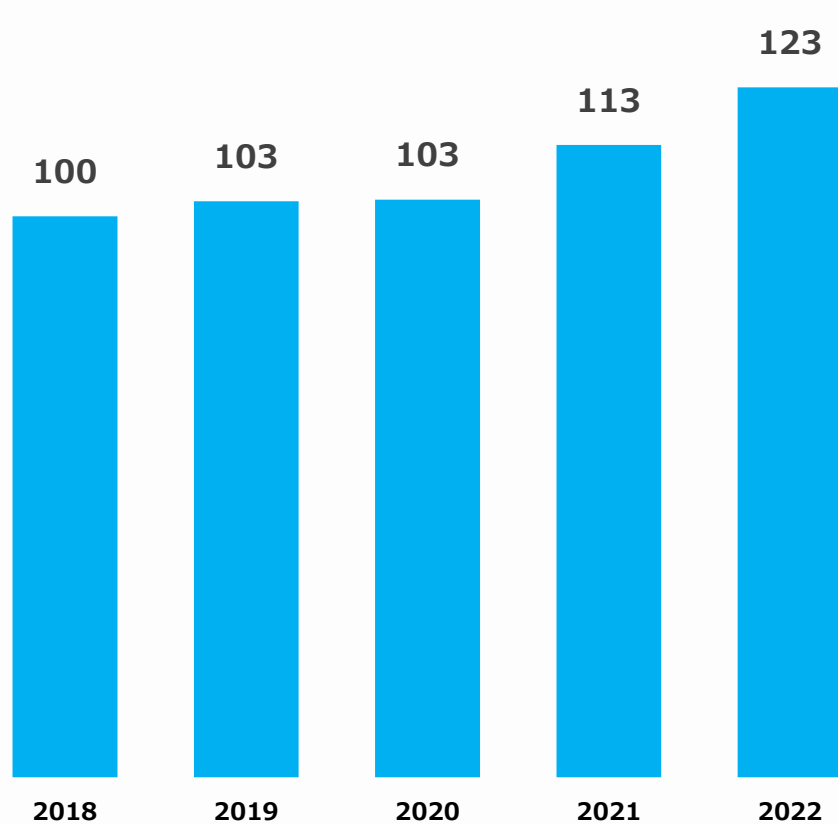
単体第2四半期混載売上高推移

※2018年を100とする

輸出



輸入



連結貸借対照表の概要(前期末比)

(百万円)

<主な変動要因>

流動資産

- ・現金及び預金 +2,624
- ・売掛金 +370

固定資産

- ・有形固定資産 +146
- ・投資その他の資産 +17

総資産額 20,065 (+3,312)

流動資産
16,160
(+3,165)

固定資産
3,905
(+147)

自己資本比率 73.3%

流動負債
3,865
(+456)

固定負債
668
(+24)

純資産
15,532
(+2,831)

<主な変動要因>

流動負債

- ・買掛金 +162
- ・未払法人税等 +147

固定負債

- ・退職給付に掛かる負債 +26
- ・その他 +18

純資産

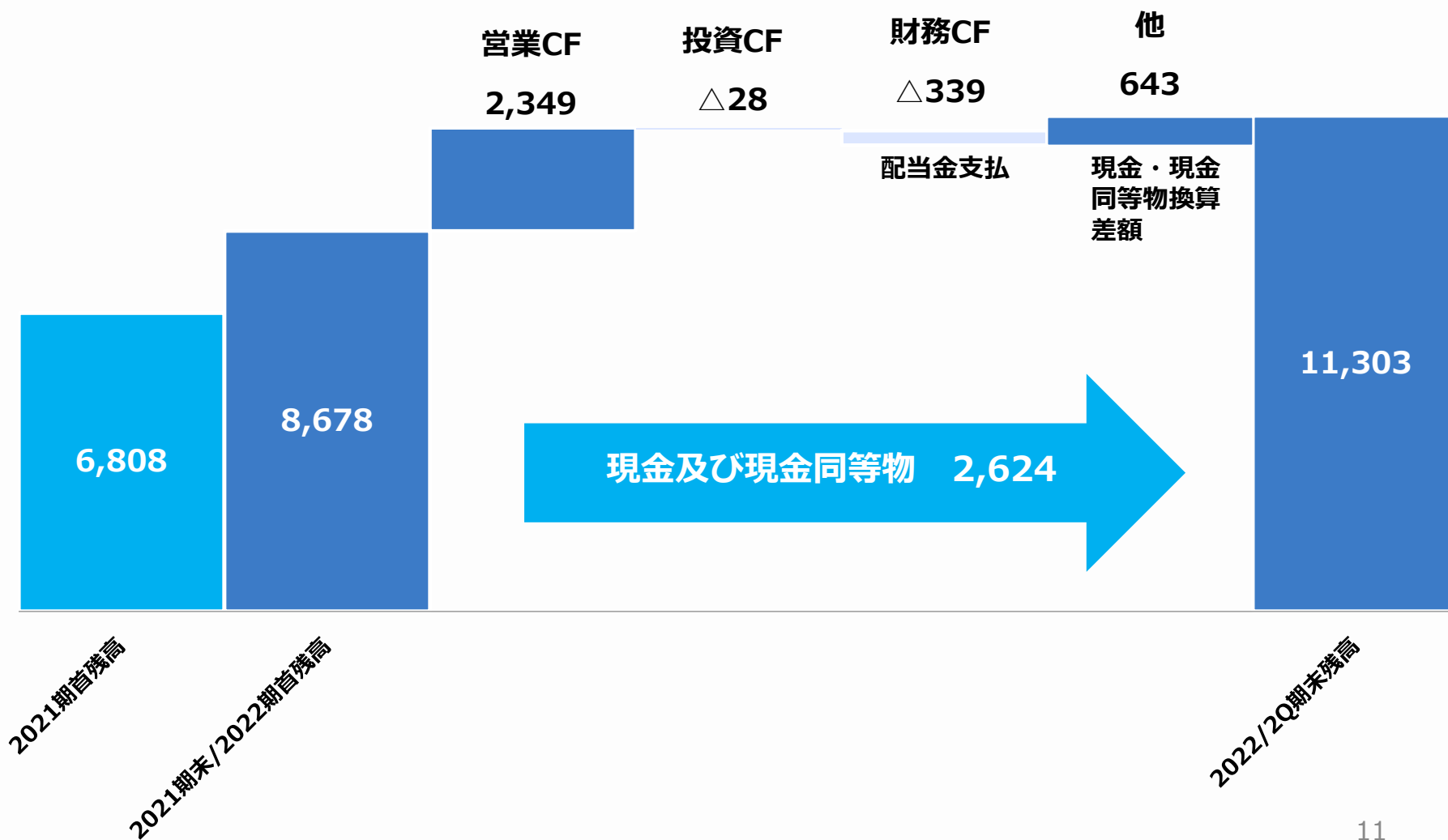
- ・利益剰余金 +1,923
- ・為替換算調整勘定 +777

() 内は前期末比増減

連結キャッシュフロー計算書の概要

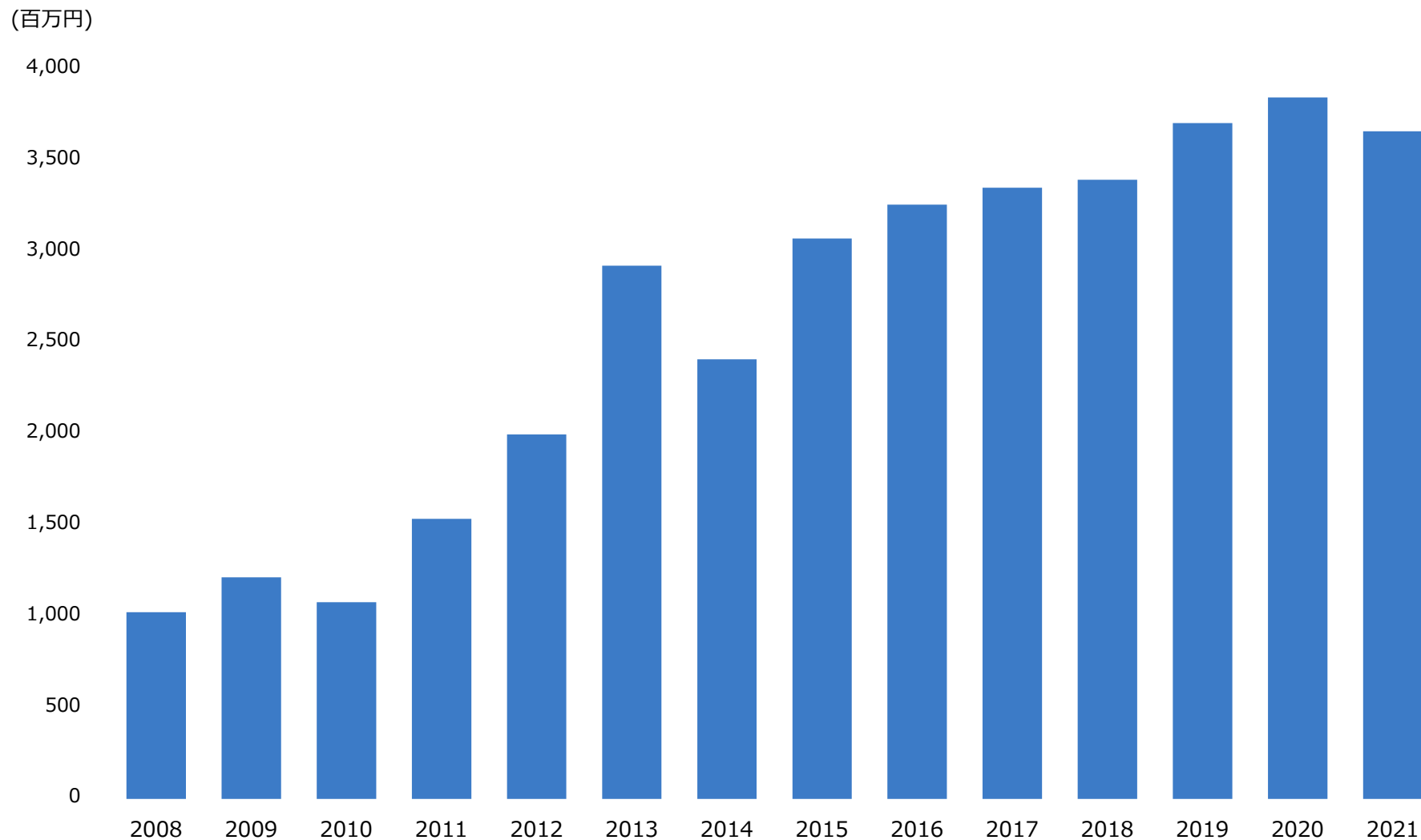
2022/2Q

(百万円)



当社の投資の推移

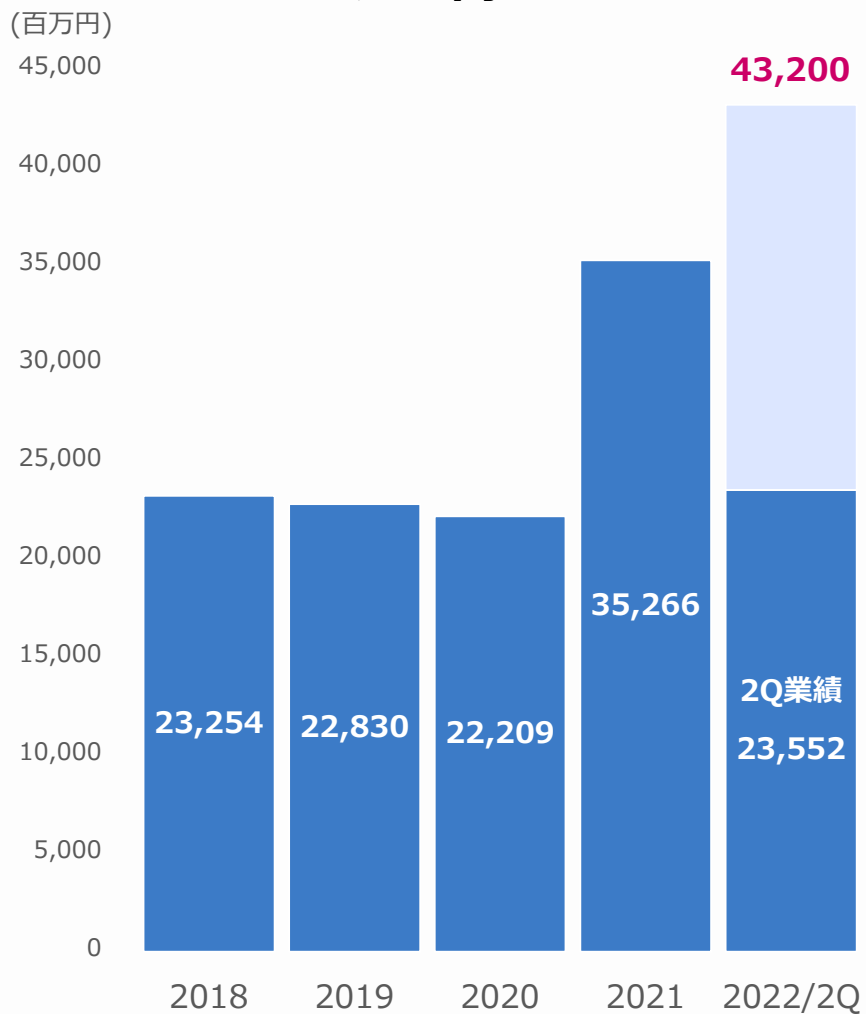
単体の貸借対照表上の「投資その他の資産」推移



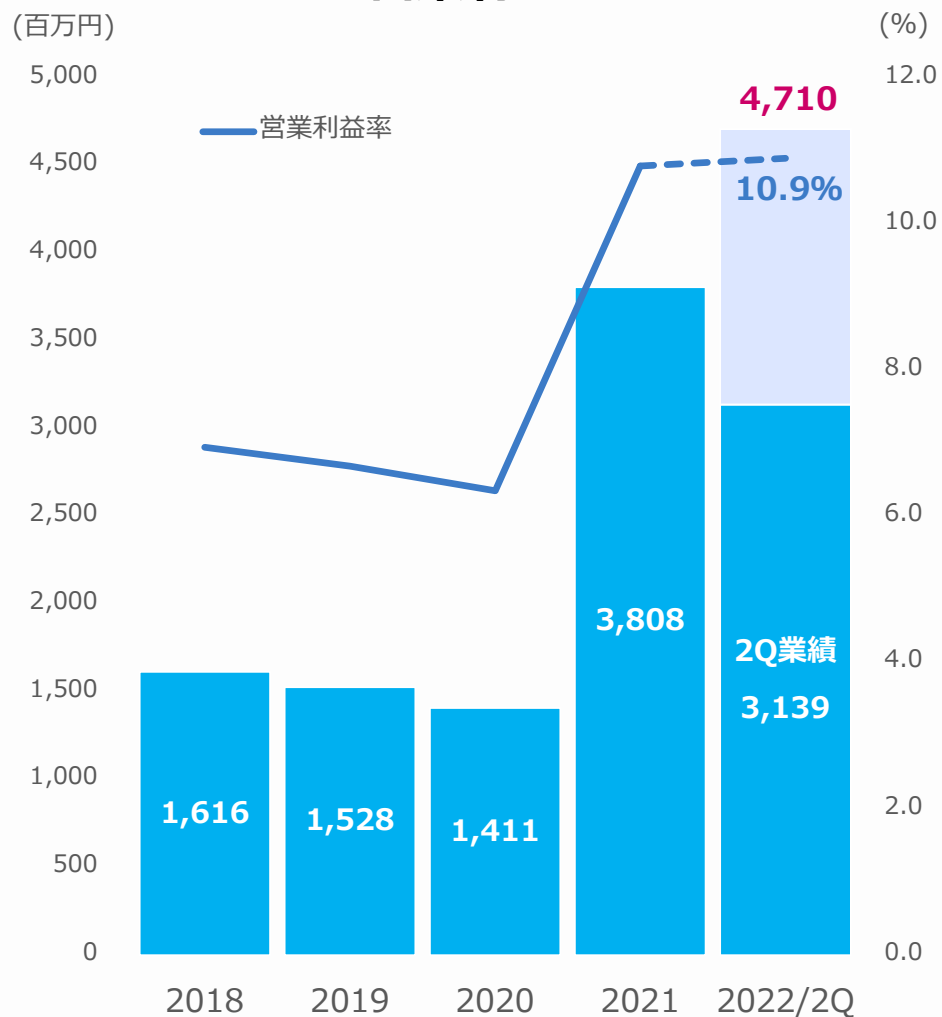
今期業績予想

連結売上高・営業利益業績予想

売上高



営業利益



第4次中期経営計画 重要経営指標(KPI)

	2022年目標	2021年実績
売上高	300億円達成	352億円
営業利益率	7.0%	10.8%
ROE	14.0%	26.3%

* 定数目標については1年前倒しで達成したため、本年中に第5次中期経営計画(2023年~2025年)を策定し、年内については助走期間とする予定です。

企業価値向上への戦略

若手社員の育成と
多様性

デジタル化の加速



事業領域の拡大

SDGsへの
取組み

若手社員の育成と多様性

人材は最大の『資産』



人種や性別にとらわれない人材登用

デジタル化の加速

従来の訪問営業に加え、非接触型営業の強化・推進

- ・ **デジタルパンフレットの充実**
- ・ **オンライン会議システムによる多拠点・遠隔地との商談**
- ・ **当社HPから24時間アクセス可能な見積り・BOOKING機能**



NAIGAI TRANS LINES

タイ ラッカバン

Thailand Lat Krabang 向け ダイレクト混載サービス

スピード輸送! リードタイムが短い! スケジュールが読みやすい!

 スピード輸送 安心	 品質の高い現場対応 安全	 様々なご依頼への柔軟な対応 便利
---	--	--

LAEM CHABANG 港揚げ後、ラッカバンへは鉄道輸送。3日以内の輸送が可能で、貨物引取りまでのリードタイム計算が容易。

知識豊富な現場スタッフによる、丁寧な倉庫オペレーションサービスをご提供。

写真撮影や立ち合い見学など、様々なご依頼に臨機応変な対応が可能。



日本の食品を 世界へ

美味しいを伝えたい!

航空輸送
世界各国に日本の食品をスピーディーにお届けします。お気軽にご相談ください!

海上輸送
充実のネットワークと多様なサービスにより迅速・安全・確実に食品輸送をサポートします。

倉庫保管
温度管理が必要なお荷物にも幅広く対応。食品保管・流通加工もおまかせください。

冷凍・冷蔵貨物もおまかせください!
酒類輸送代行サービス開始!
国内配送引取り可能!
展示会用商品やサンプルなど小口貨物の取扱可能!

事業領域の拡大

米国・香港・シンガポール

・食品関連のフォワーディング



タイ・インドネシア

・工業製品のフルコンテナ



日本

・フォワーディングチーム設置
・酒類販売免許を取得



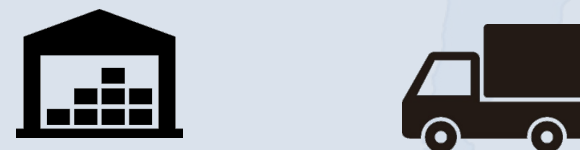
韓国・インド

・韓国3カ所、インド12カ所の
倉庫事業



中国

・中国国内での日系企業の商品を
保管、配送



SDGsへの取り組み

当社は経営理念のもと
SDGsと行動規範を関連付け
グループ経営を推進しております

(経営理念・行動規範 2006年7月制定)



*内外トランスライングループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

当社の行動規範(抜粋)とSDGs

私たちは高い倫理と協調の精神を持って行動します

当社
部長以上の女性比率
20%

- ・女性活躍推進
- ・シニア雇用
- ・育児・介護休業制度



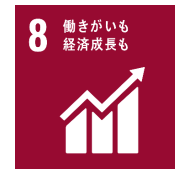
私たちは会社の仕事を通じて社会への貢献を果たします

- ・地域社会の発展・活性化・次世代育成
- ・環境負荷低減
- ・CO2排出量の算出

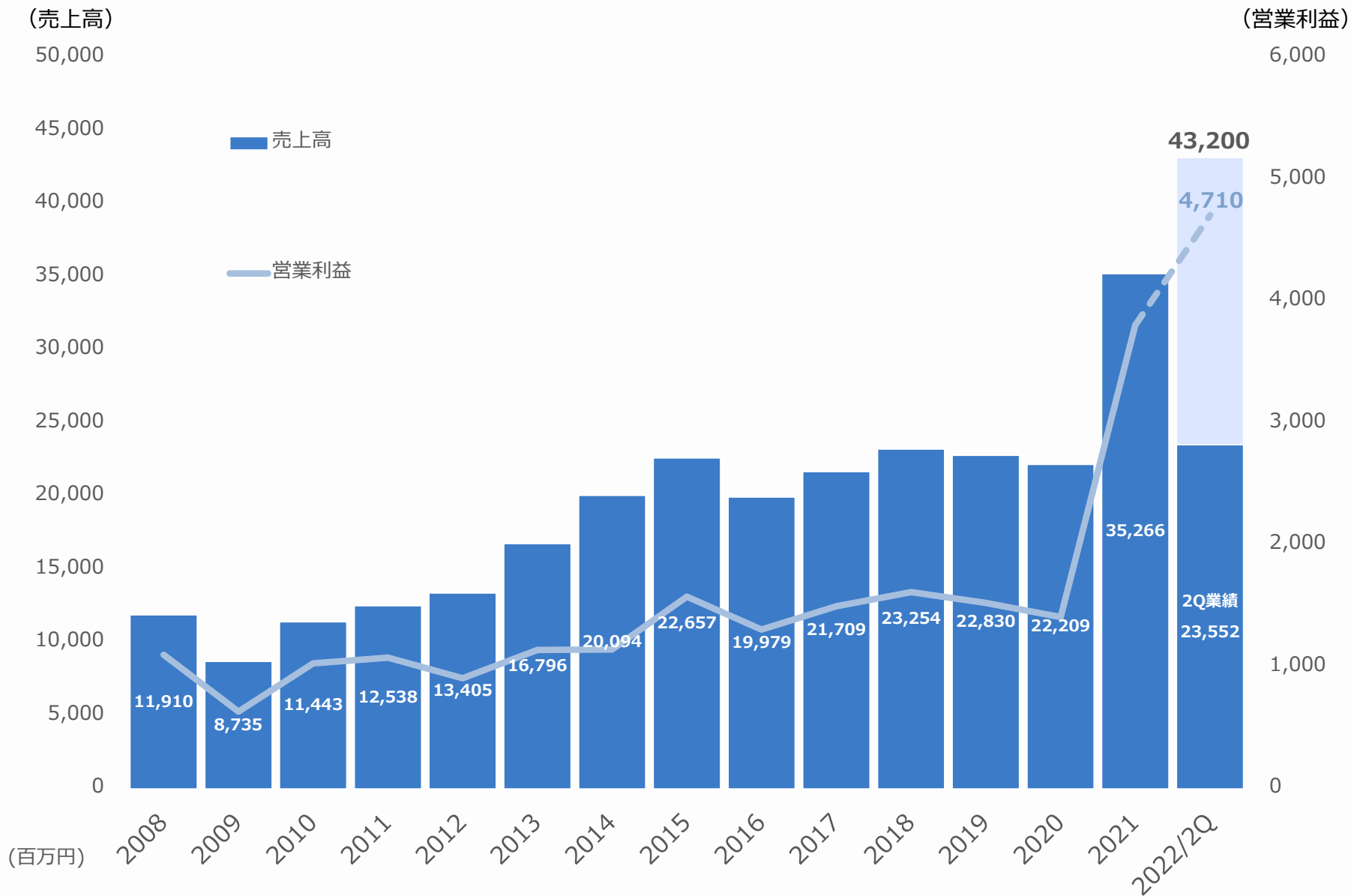


私たちはたゆまぬ努力により自己の成長を図り、社会を発展させてゆきます

- ・社会・経済の発展に貢献

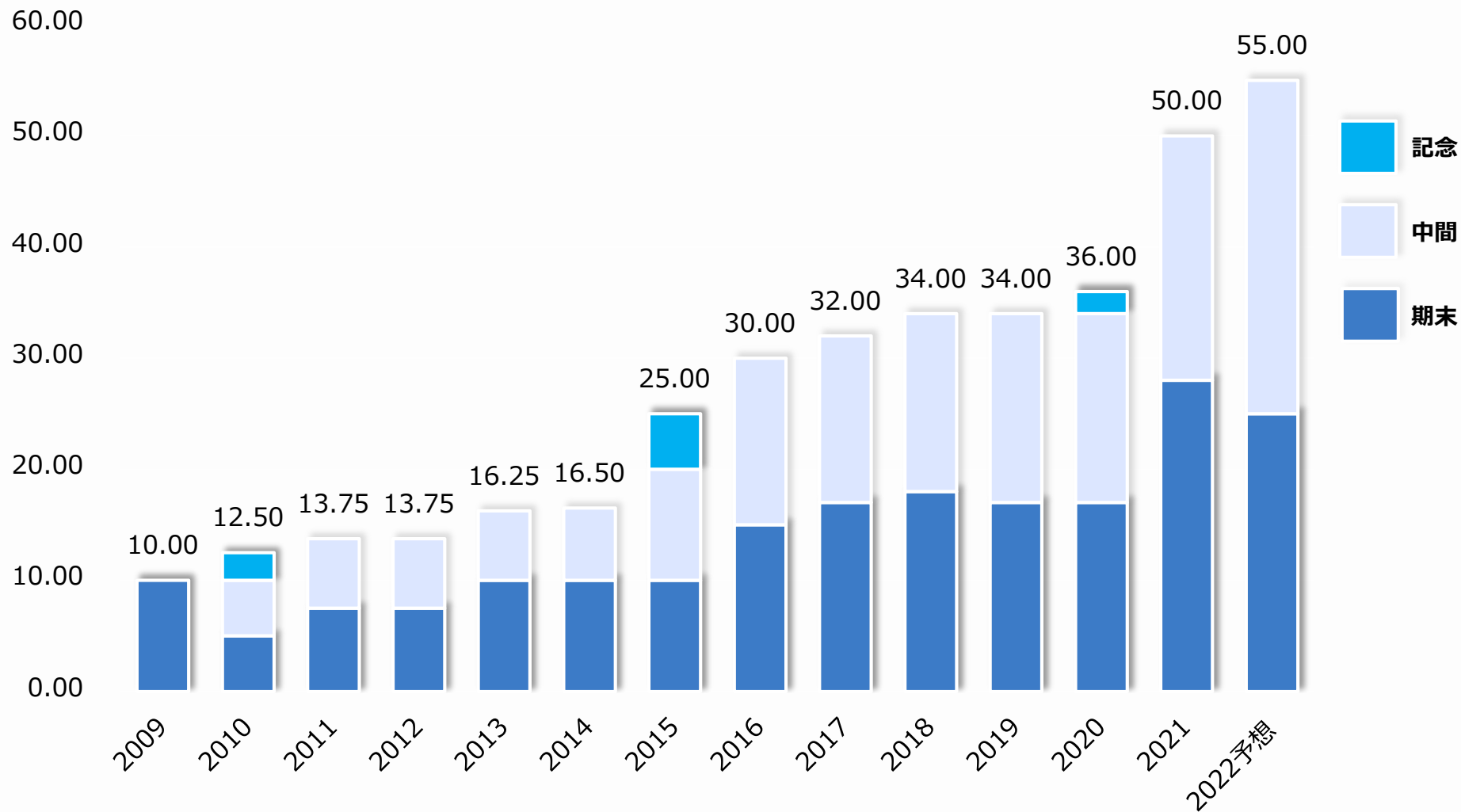


連結売上高・営業利益の推移



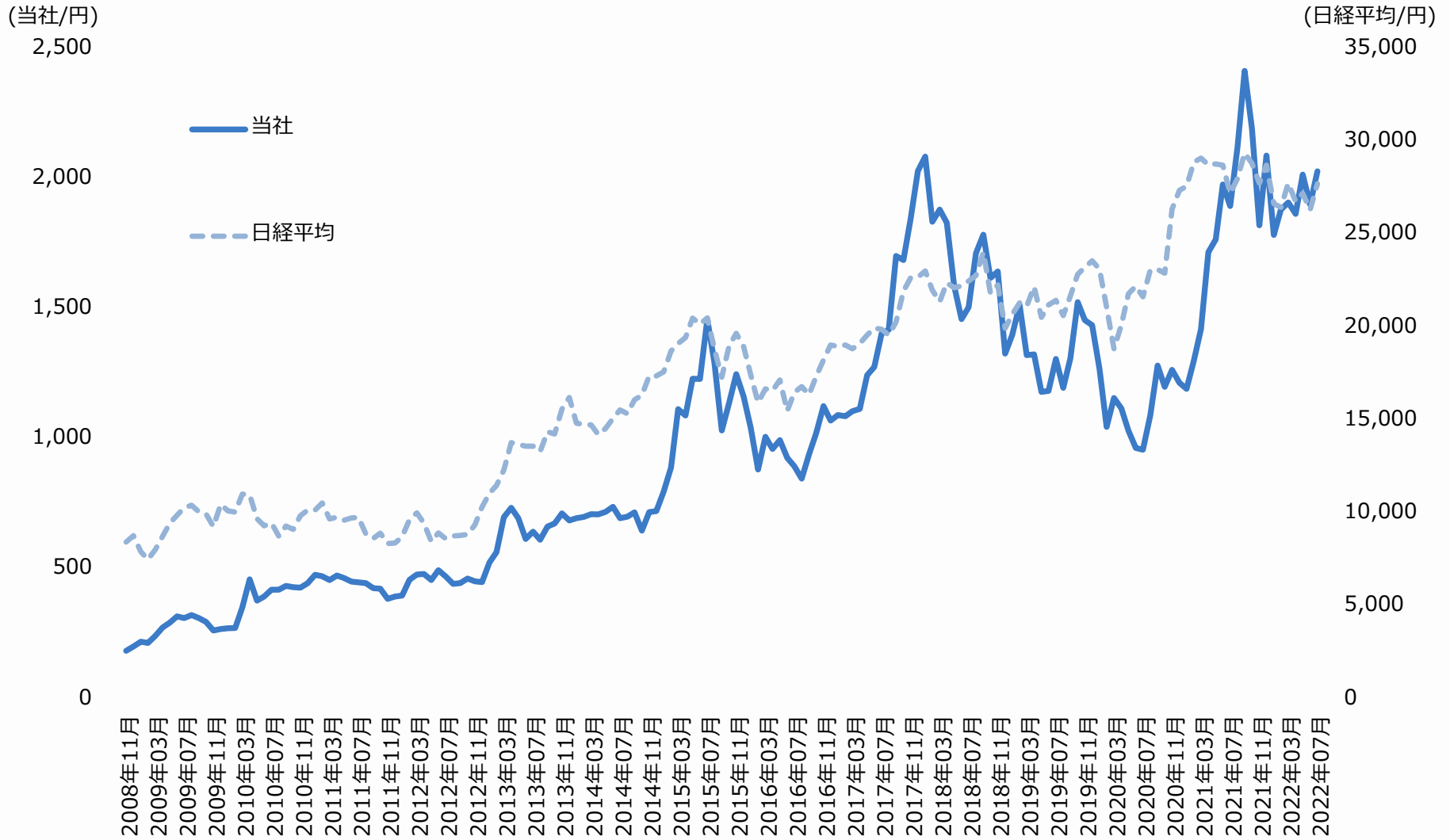
配当金の実績と予想

(配当金/円)



※2012年と2015年6月末日を基準日としてそれぞれ1：2の株式分割を実施、上記金額は分割後配当額にて表示

当社株価の推移



出典：Yahoo!JAPANファイナンスを基に当社作成（株価は月末終値）

ご清聴ありがとうございました



内外トランスライン株式会社
NAIGAI TRANS LINES

お問合せ先
取締役 IR担当 三根 英樹

TEL 06-6260-4800

FAX 06-6260-4713

URL <https://www.ntl-naigai.co.jp>

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは既に具体化している事実を除き、本資料の作成時点で取得可能な情報に基づくものであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。そのため、実際の業績などは本資料に記載の見通しや予想とは異なる結果となる可能性があり、その内容を保証するものではありません。